

● シンデレラーメン
● あるところにまずしい女がいた。
● 名前をシンデレラーメン。
● シンデレラーメンは、ものすごく
● 足が速く、馬よりも速かった。
● そんな彼女を見た、おしろの王様
● は、
● 「彼女をこのしろへ」
● とおしろへしようたいしたところ
● 足がものすごく速いので、ものの
● 5秒でおしろにとうちやく
● 「シンデレラーメンよ、私とけっ
● こんしてくれぬか？私は足が速い
● 人が大好きなのじゃ。」
● と王様はいきなり告白。
● 急に言われたものだから、
● 「きゃー！」とひめいをあげて、
● シンデレラーメンはものすごい速
● さでおしろを出て行きました。
● その後、ずつとにげつづけ、つか
● まることはありませんでした。

問い 1

シンデレラーメンは（ ）より足が

速い

問い 2

シンデレラーメンは王様に告白された
のち、ずっと（ ）続けた